

令和4年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市中央デイサービスセンター					
指定管理者名	社会福祉法人 上田市社会福祉協議会	料金制導入区分	利用料金			
指定管理期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日 (5年間)					
施設所管課	福祉部	高齢者介護課				
設置目的	在宅の要介護高齢者及び要介護となるおそれのある高齢者等の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、家族の負担の軽減を図るため					
指定管理者が行う業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの利用許可に関する業務 ・センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 					
管理業務の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	日常清掃	日常的な管内外の清掃	1日1回以上	毎日	職員が実施	
	生垣等手入れ	植木、生垣等の剪定・手入れ	月1回以上	随時	職員が実施	
	日常・定期点検	給排水・冷暖房・電気設備の点検	1日1回以上	毎日	職員が実施	
	消防設備点検	有資格者による法定点検	年2回	9月・3月	専門業者に委託	
	自動ドア保守点検	有資格者による法定点検	年3回	6月・10月・2月	専門業者に委託	
職員の配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	管理者(全館の管理・運営・経理業務)			1人	1人	
	看護師(施設の維持管理業務、利用者の健康管理)			2人	3人	
	介護員(施設の維持管理業務、利用者の介護)			6人	6人	
施設の利用状況	利用区分等	設定目標値	R4年度実績	達成率	R3年度実績	前年度比
	デイサービス利用者数	5,950人	4,751人	79.8%	5,282人	89.9%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	310日	延べ利用者数(R4)	4,751人	一日あたり利用者数	15人
	(施設所管課による評価) ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用控えなどにより設定目標値に届かなかったが、やむを得ないものとする。 ・新型コロナウイルス感染症は5類移行しているが、引き続き感染症対策の徹底と利用促進を図っていただきたい。					
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	(施設所管課による評価)					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入					
		居宅介護料収入	44,387,957	37,555,707	37,082,000	34,984,970	
		利用者等利用料収入	3,908,890	3,632,403	7,392,000	3,258,505	
		補助金収入	18,080	72,000	25,000	950,498	
		雑収入	0	9,100			
		計	48,314,927	41,269,210	44,499,000	39,193,973	
	支出	人件費	32,143,560	33,486,009	30,927,000	31,200,391	
		事務費	273,962	247,607	372,000	236,525	
		水道光熱費	1,377,790	1,509,647	1,550,000	1,767,257	
		燃料費	1,093,297	1,413,275	1,480,000	1,306,813	
		業務委託費	3,014,548	3,396,901	3,093,000	3,627,240	
		その他事業費	7,068,414	4,728,668	5,308,000	5,141,334	
	計	44,971,571	44,782,107	42,730,000	43,279,560		
	差引		3,343,356	△ 3,512,897	1,769,000	△ 4,085,587	
	自主事業	収入					
計		0	0	0	0		
支出							
計		0	0	0	0		
差引		0	0	0	0		
市	歳入						
	計	0	0	0	0		
	歳出						
	計	0	0	0	0		
	差引	0	0	0	0		
総合計		3,343,356	△ 3,512,897	1,769,000	△ 4,085,587		

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	◎
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	◎
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○	
	条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○	
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
		経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。
	管理費用の執行状況は適正か。		○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行われているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないよう、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項	衛生管理について	感染防止のための取組が実施されていること。	◎

(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載

- ・ 職員のマスク着用、検温、手指消毒液の設置、換気など感染対策が適正に行われている。

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・新型コロナウイルス等の感染症予防を徹底しながら、新たなレクリエーションの企画や外出行事を行いました。
- ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等にPRをし、新規利用者の獲得に努めました。
- ・利用者へのサービス提供の充実のため、定期的なミーティングや職員間の情報共有を徹底しました。

②経費節減に対する取り組み

- ・冷暖房の使用について、サーキュレーターなども併用しながら節電に心掛けました。
- ・館内の電灯等こまめに電源を切るなど節電に努めました。
- ・人件費の削減にも努めました。

③その他

- ・新型コロナウイルス、新型インフルエンザや他ウイルスに対する感染防止のため、換気やアクリル板の設置、消毒の徹底や消毒液の配置等感染予防を徹底して行いました。また利用者さんや職員の感染予防にも努めました。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・施設の老朽化に伴い、施設内外に修繕が必要な箇所があります。
(浴槽タイル、ホール床等、経年劣化による修繕箇所があります。)

(3)次年度以降の取り組み

- ・上田市社会福祉協議会が掲げる「あったかい、心あふれる、協働のまち」のキャッチフレーズのもとに、地域住民のニーズに応え、関係機関とも協働しながら、心のもったサービスの提供に努めます。
- ・感染症予防対策を徹底し、安心して利用できる環境づくりに努めます。
- ・サービス向上や新規利用者増加のため、居宅支援事業所等との連携やPRを図ります。
- ・ボランティアの受け入れを再開し、サービスの充実を図ります。
- ・職員の資質向上やサービス充実のため、研修(オンライン含)等への参加を充実します。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・外出行事をもっと増やしてほしい。
- ・体操や囲碁・将棋のボランティアさんの受け入れをしてほしい。
- ・苦情等はありませんでした。

②市からの改善指示に対する対応(※市から改善指示等があった場合のみ)

- ・ 特になし